

なかの発!

FROM  
NAKANO  
07

未来のために  
生活の記憶・生きた歴史を残す

(一社)中野オーラルヒストリークラブ  
代表理事 源 資さん

中野区在住。2020年4月に(一社)中野オーラルヒストリークラブを設立。映像制作ディレクター



▲理事3人と歴史を語らう源さん

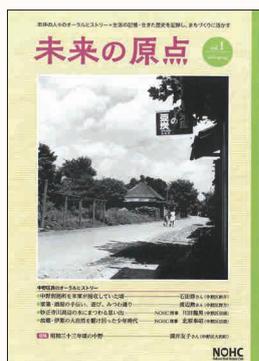


オーラルヒストリーとは、口述(oral)歴史(history)のこと。市井の人々の記憶を聞き取り、冊子や映像で残していく。公的な記録には載らない生きた歴史を記録する。「語る人がいるうちに聞かないと消えてしまう。あの時間いっておけば良かった、とならないためには、今行動を起こすことが大切」と源さん。中央区のオーラルヒストリープロジェクト活動に参加した経験を生かし、中野での活動をスタート。野方・沼袋地域の仲間とともに区民へのインタビューなどを実施し、今年3月には小冊子「未来の原点」を発行した。区施設や区内店舗等で同冊子を

配布したところ、その反響は大きかった。懐かしい、今度はいつ発行されるのかといった声や自分の話も聞いてほしいと電話をかけてくれた90代の方も。急激に変わっていく世の中に危機感を覚え、残したい話したいと思っている人の多さを実感した。「ちょっと集まって話すだけでも、記憶が呼び起こされ話が盛り上がる」。庶民による庶民の歴史を残すためのこうしたプロセス自体が活動の醍醐味だ。まちの記憶を語り合ったり、制作した映像を観覧したりすることで、地域コミュニティ形成のきっかけにもなる。マンションが次々に建設され、新しい住民が増えている中野。古い記憶を思い出し、語ることで、思いをつなげていく。それが未来のまちづくりに生かさ

れる。この活動は、継続・蓄積することに意義がある。質を維持しながら活動を続けるには、多方面からの支援が必要だ。小冊子を数十部、数百部まとめて購入してくれた個人や企業もある。「みんなに配りたいから、とってもらえ、とても励みになっている。売り上げは全て活動資金に充て、社会に還元していく」。「制作した冊子の活用の仕方を考え、実践することも大切。若い人へも働き掛け、さまざまな立場の人と一緒に活動の幅を広げていきたい」。古い記録を胸に、まなごしは未来を見据えている。

なかの発! →  
中野で活躍する文化人を幅広く紹介します



小冊子「未来の原点」創刊号

文字の大きさに配慮し、写真も多数。話し言葉中心のどなたにも読みやすい構成です。1部300円。

購入について詳しくは、中野オーラルヒストリークラブHPをご覧になるか、[minamoto@nohc.jp](mailto:minamoto@nohc.jp)で同クラブへ問い合わせを。

☆販売協力店も募集中

動画もご覧になれます

同クラブHPでは、冊子作成時のインタビューを撮影・編集した動画を掲載。ぜひご覧ください。

動画の出張上映も実施可能。町会活動などにご活用を。条件などについて詳しくは、同クラブへ。



▲同クラブHP

催しの開催状況は事前に確認を

新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントなどの開催が中止や延期になる場合等があります。参加を予定している方は、事前に区HPで確認するか、各催しの担当へ電話などで確認を。

催しに参加する際は感染症の予防対策を

催しなどに参加する際は、マスクの着用やせきエチケットに協力を。発熱などの症状がある場合は参加を控えてください。



次号予告

一年の振り返り



なかの区報二次元コード

区内各家庭の郵便受けなどに配布しています  
情報活用後は、資源として古紙の集団回収へ